



ロータリー:
変化をもたらす

Rotary



CHINO



2017～2018年度国際ロータリーテーマ

茅野ロータリークラブ

創立1981. 1. 26

茅野ロータリークラブ活動指針

「ロータリーの奉仕の進化と深化を楽しもう」

2017 - 2018 会長 高見 恭司 幹事 勅使川原 一幸

Vol.29 1735 2018.3.14

高見会長挨拶

皆さんこんにちは、今日の会長の時間は、例会の冒頭で歌った、ロータリーソング「奉仕の理想」についてのお話したいと思います。例会のときに歌を歌う風習は、1907年、今から111年前シカゴRCで始まりました。「親睦」が「奉仕」かの大論争の中で、ぎすぎすしたクラブの雰囲気の中を和らげようと、ロータリーの創業者ポールハリスが音頭をとって、民謡や当時の流行歌を歌い出したのが始まりです。



一方、日本では1935年(昭和10年)5月の京都の地区大会を記念して募集され、当選したのが4作品ありました。第1位は「旅は道づれ」の曲名で、歌の内容は「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」というロータリーのモットーに通じるような内容でしたが、この歌の作曲の一部に、盗んできた作曲があったため、後に失格となり第2位の「奉仕の理想」が、第1位に繰り上げ当選しました。ちなみに第4位の歌が、皆さんおなじみの「我らの生業」でした。

さて、繰り上げ当選して1位になった「奉仕の理想」ですが、2行目の「御国に捧げん」の「御国」が、ロータリーの思想と一緒に成り立たないと感じる会員が多く、戦争の敗戦の影響もあり、死語となったような「御国」は使いたくないと、この一節を歌うときは、「地域に捧げん」と歌うクラブもあります。当時この曲を作詞した京都RCの前田さんの原案は、「御国に捧げん」ではなく「世界に捧げん」と作詞しましたが、当時の村田省蔵ガバナーは、日本は、歴史・文化などが他の国よりもすぐれている、それを守り発展させようと主張する「国粋主義的」な考えを強く持った方で、この「世界に捧げん」を「御国に捧げん」と変えなければ当選は無効と宣言しましたので、前田さんは泣く泣く承諾したのだそうです。前田さんは、後に亡くなる前、「もし出来ることなら何時の日にか、原案の『世界に捧げん』に戻していただければありがたい」と遺言されたそうです。村田ガバナーが「御国」という言葉に変えたのは、当時の日本は英語を使っていけない時であり、アメリカから来たロータリーに世間の冷たい目が向けられようとしていた時代に、ロータリーの組織を守るという苦肉の策だと言われています。実際、この「奉仕の理想」が発表された昭和10年の5年後には、日本のロータリークラブは国際ロータリーを脱退し、解散を余儀なくされることになりました。そうしたロータリーの苦難の時代を耐え抜いたこの歌の歴史を尊重しながら、21世紀を生きるロータリアンはこの歌の「御国」を「世界」、「地域」、「社会」と置き換えて、歌っているクラブが多くなってきたそうです。

以上で会長挨拶と致します。ご清聴ありがとうございました。

※別紙幹事報告書

藤本稔会員より退会の挨拶



<長文のため中間の福岡転勤時代のお話を割愛させていただきますが、夢科を愛した藤本さんご夫婦に敬意を込めて>

私は昭和35年三井不動産に入社しました。私は東京板橋区で屋根瓦葺き工事業を一代で興した藤本瓦店の長男として生まれました。大学3年4年の時は家の手伝いとして地下足袋をはきダットサントラックを運転して現場に出ました。家業を継ぐべきか悩みましたが家族会議の結果、継がなくてよいとのことと第一志望だった三井不動産に就職しました。しかし父が一代で興した事業を長男が継がなかったことは親不孝だったのかと今更ながら考えてしまいます。

――(中間部略)――

(平成3年に福岡転勤、4年半福岡にいた後東京に戻る)

それから20年たった4年前、三井の森への辞令が出ました。また単身かとい瞬不安がよぎりましたが、妻に連絡するとなぜか明るい声で答えるのです。「私が夢科好きなのを知らなかったの?」との事。確かに子供が小さい時、三井の森、夢科温泉、車山高原に来ていました。着任後は私が住んでいる上諏訪のマンションを拠点にバス、列車を乗り継ぎ、上高地、黒部ダム、高遠のお花見、安曇野さび農園と、私が行ったことのない所に一人で行っていました。今回の辞令で東京に戻らなければならないことを夫婦共々非常に残念に感じておりますが、同居してもらっている私の母(奥様と同名で二人とも千代子さんのこと)も90才を超え体が不自由になってきています。介護に付き合わなくてはならないタイミングかなと思っております。

故郷のない藤本家は三井の森夢科に縁あって拠点を持つことが出来ました。

夢科を故郷と思い遊びに参りますので宜しくお願いいたします。

4月からの仕事は第一園芸というお花屋さんです。営業担当として花を売る仕事です。皆からは似合わないと言われておりますが、花の名前を覚え、花売りじいさんとして頑張るつもりですが、東京の空気と夏の満員電車を思うと憂鬱であります。

夢科で素晴らしい景色と天候に恵まれた中で仕事をし、茅野ロータリークラブの皆様と一緒に活動させていただき、本当に充実した素晴らしい4年間を過ごさせていただきました。

後任は、日本橋にある三井不動産本社で日本橋街づくり推進部長の上田と言う者が参ります。ロータリーに入会させていただきたいと申しておりますので皆様是非入会を認めていただきたいと思います。

最後になりますが茅野ロータリークラブのますますのご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

皆様本当にありがとうございました。

卓話

「善行者表彰」

北澤幸男様



<北澤さんは北山芋ヶ沢の生まれで78歳、現在収穫体験農場の企画・実践および夢科高原「私の農園」の主催代表として、野菜作りと収穫体験の実践を通じ来園する小中学生の団体や一般客・ファミリー客を対象に「食と農・自然との関わり」など指導・講話活動を行っています。>

私がやっていることには2つの柱があります。一つは40アールの畑に野菜を作り、都会の子供たち、家族連れの子供たち等、夏に別荘に来る人たちが子供たちに農業を体験させたいと言うことで、種まきから収穫まで、収穫をしながら農業の話、食の話をして子供たちに食べるものに関心を持ってもらいたいと言うことです。もう一つは270アールの畑(一部有休農地を借りて)で野菜を作りたいという72名の方々の面倒を見ている。その畑の区割をするのが大変で、高齢になるとその畑を維持するのが困難となるため、毎年区割りを変更することになります。体験農場はトウモロコシ、じゃがいも、野沢菜、ミニトマト等を作っています。無農薬有機農業なので作業がたいへんです。医療と同じで野菜も健康なものを作らないといけません。健康な野菜は中身も十分に入っており、病気にもなりにくい。農業を使用して作った野菜は、消費者がきれいなもの、形の整ったものを要求するため実際には野菜を痛めてつくったものです。例えば無農薬で野菜を作るのは、トマトが一番大変で18工程を要します。普通はそんなに面倒をみることはできません。行程を怠るとトマトがおこります。トマトの状態を見て手入れを調整します。野菜と話ができるようにならないといけないと思っていますがまだそこには至っていません。

畑を開放し、ハーブ茶を出し喫茶室を作りたいと思っています。アピオス茶というお茶を試作してみました。今年は7-8月には畑にいます。来ていただければただで美味しいお茶が飲めます。



ニコニコBOX

人数
21人
金額
43,000円

◎高見恭司会長 藤本会員お世話になりました。三井の森ゴルフ場で会いましょう。

北澤幸男さん、善行者表彰おめでとうございます。卓話宜しくお願いします。

◎長田秀夫会員 今月は誕生日と結婚記念日です。

◎朝倉秀尚会員 昨日誕生日でした。記念にベストセラーの本を読みました。コペル君になりたいと思いました。

◎浜整之助会員 今年も倫理講演会、4月3日に行きます。大勢の人のご来場お待ちしております。

出席報告

会員数 55名
出席 41名
出席率 75%